



凡事徹底

内子中学校長 西本 晃

5人の教育実習生が活動中です

5月8日から、5名の大学生（本校の卒業生）が3～4週間の教育実習に取り組んでいます。このように多くの卒業生が、教員を目指して頑張ってくれていることを、とても嬉しく思います。

実習生の皆さんには、専門の教科や部活動を教えるだけでなく、各自が高校・大学と進み中で経験したり学んだりしたことを、是非とも後輩である内中生に伝え、進路選択の一助になるよう、協力してほしいと思います。

そして、今の中学生からも、教職を目指し、数年後に教育実習を行う生徒が出てくることを楽しみにしています。



内子町青少年健全育成講演会に参加しました

内子町では、毎年、社会に的確に対応し、心豊かでたくましい青少年を育成することを目指し、内子町青少年健全育成講演会実行委員会主催、内子町教育委員会共催による講演会が開催されています。また、開催に当たり、地域の企業の皆様からの温かい御後援を賜り、著名な方をお招きしての御講演をいただいています。

今年度は、5月9日（火）に、お笑い番組や激辛番組等で活躍されており、命のポーズでも有名な、ゴルゴ松本さんによる御講演を聴くことができました。保護者の方にも御案内したところ、数名の保護者の方にも御参加いただきました。

松本さんの御講演は、「心」や「意」を始め、いろいろな漢字の意味を伝えたり、中学生への思いを語ったりすることで、生徒の心を動かし、生き方の参考となる道標となったのではないかと考えています。今回の講演で学んだことを自分の生活に生かし、夢や目標の実現に向けて、頑張してほしいと思います。



新体力テストを行っています(保健体育科)

本校では、現在、保健体育科の授業で新体力テストを行っています。近年、子どもの体力低下が課題として取り上げられており、愛媛県では、「えひめ子ども体力向上プラン」を策定し、子どもの体力を上昇傾向に転じさせ、昭和60年頃の水準へ回復させることを目指しています。

提言として、「す・こ・や・か」を推奨しています。

- す：すべての子どもがスポーツに親しめる環境を（二極化への対応）
- こ：子どもの頃から望ましい生活習慣を（早寝・早起き・朝ごはん）
- や：やってみよう続けてみようと思いがちな子どもが思う個に応じた指導を（調査結果を指導に生かす）
- か：家庭や地域で運動習慣・生活習慣の見直しを（家庭や地域との連携）

なお、ここ3年間はコロナの影響を受け、さらに体力が低下しているのではな
いかと言われています。骨折しやすい子どもが増えているとの、声も聞かれます。

どうか、引き続き、御家庭でも「早寝・早起き・朝ごはん」など、生徒の体力向上に御協力ください。



子どもたちの生きる力を育むために

子どもたちの生きる力を育むために、文部科学省が作成したパンフレット（保護者や地域の皆様にお力添えをいただきたいこと）を、昨年度に続き紹介させていただきます。

子どもたちの「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、御家庭での経験を学校生活に生かしたりすることがとても大切です。

お子さんが学校で学んだことについて、御家庭で是非話してみてください。保護者の皆様の働きかけが、子どもたちの「生きる力」を育む原動力になります。

また、全国学力・学習状況調査の調査研究を基に、保護者の方の働きかけがある子どもの学力は高い傾向があると紹介されています。具体例として、7つのことが示されています。是非、御家庭で参考にしてみてください。

- ① 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
- ② テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。
- ③ テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。
- ④ 子どもに本や新聞を読むようにすすめている。
- ⑤ 子どもに最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- ⑥ 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- ⑦ 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。